組立・設置説明書

TOTO

洗面化粧台・化粧鏡・ウォールキャビネット

LDBA060～075型（洗面化粧台）/LMBA060～075型（化粧鏡）
LWBA060～075型（ウォールキャビネット）

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1）安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

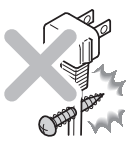
⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。	❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
  紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠ 警告

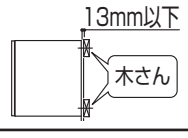
浴室など湿気の多い場所へ設置しない（禁止）
漏電により感電するおそれがあります。
木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。

電源コードを傷つけない（禁止）
漏電および火災の原因になります。

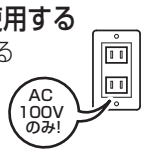


コンセントは化粧鏡の裏面には設置しない（禁止）
化粧鏡が落下する原因になります。また、トラッキングによる火災の原因になります。

壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する（必ず実行）
キャビネットや化粧鏡が転倒、落下しけがをするおそれがあります。



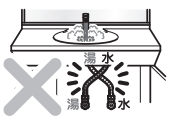
電源はAC100Vを使用する（必ず実行）
AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。



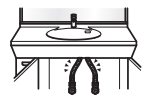
水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず、「有資格者・指定業者」が行う（必ず実行）
火災や感電および水漏れの原因になります。

⚠ 注意

湯・水を逆に配管しない（禁止）
水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。



凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う（必ず実行）
凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。



取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する（必ず実行）
使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。

取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する（必ず実行）
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

洗面ボウルの上にのらない（禁止）
故障および転落・転倒してけがをするおそれがあります。

照明カバーは確実に取り付ける（必ず実行）
落下してけがをするおそれがあります。

2）設置寸法

- 電源コードは、上部からの取り出しもできます。
- 止水栓・連結管および壁排水管は付属していませんので、必要な場合は下記品番の別売品をご購入ください。

		エコシングル混合水栓	2ハンドル混合水栓	単水栓
止水栓	壁給水	LTL4C11U(2個)		LTL4C11U(1個)
	床給水	LTL4D12U(2個)		LTL4D12U(1個)
連結管		ー	LTN65LX35(2個)	LTN65LX35(1個)
壁排水管		L095		

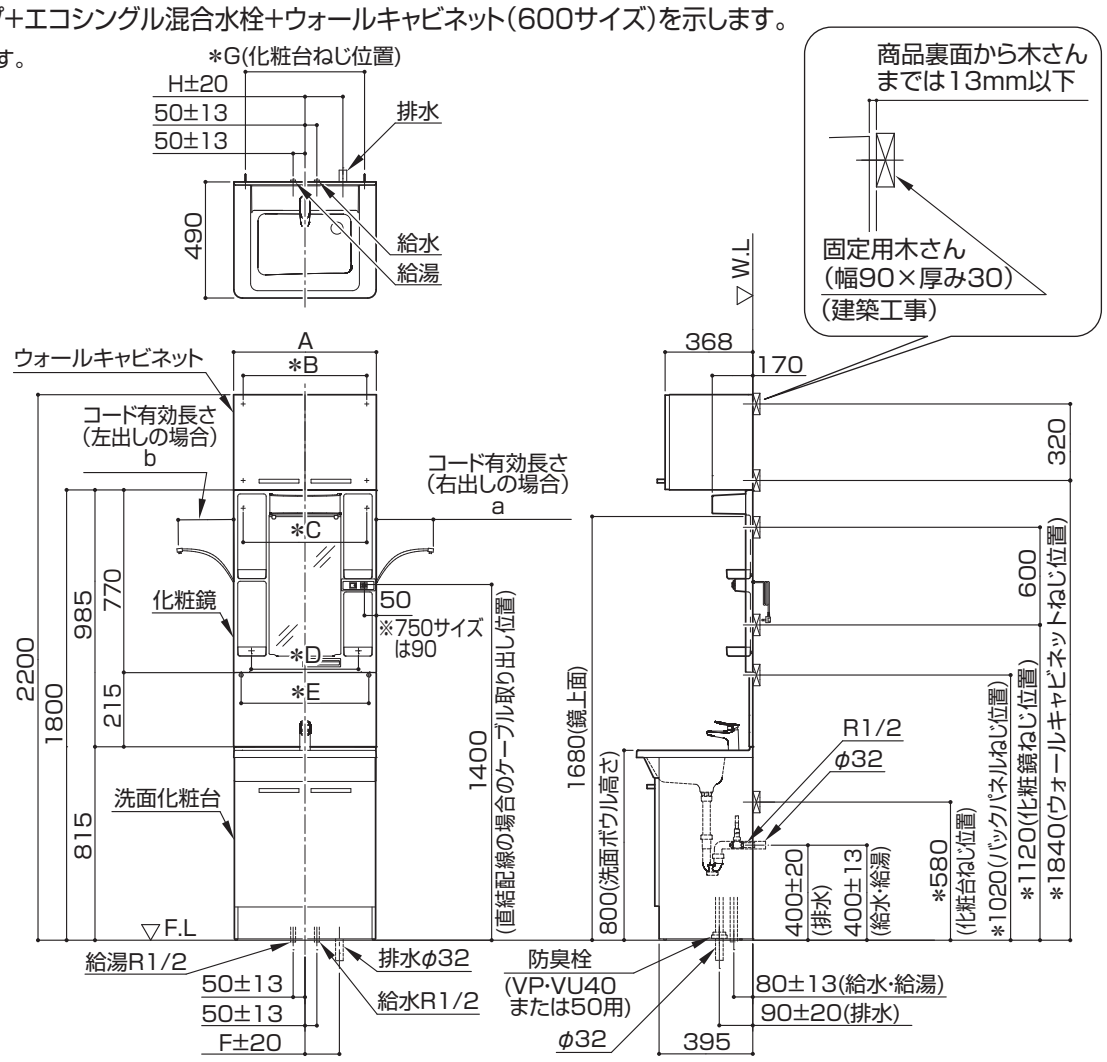
【樹脂配管の場合】

- 樹脂配管をご使用の場合は、TSAS4BJZAを2個ご購入ください。

A	＊B	＊C	＊D	＊E	F	＊G	H	a(右)	b(左)
600	480	520	450	540	145	500	160	1150	700
750	630	670	600	690	200	650	175	1150	550

- 本図は、一面鏡+2枚扉タイプ+エコシングル混合水栓+ウォールキャビネット（600サイズ）を示します。

＊印の寸法は木ねじ位置を示します。



3）付属部品明細

【洗面化粧台】

水栓一式			排水トラップ		防臭栓
エコシングル混合水栓	2ハンドル混合水栓	単水栓			
1セット	1セット	1セット	1個	1個	1個

給水ふた(めっき管用)	排水ふた(φ32用)	壁固定用ねじ(φ5.2×55)	底板固定用トラスタッピンねじ(φ3.5×12)	取扱説明書(保証書付)
2個 ※単水栓は1個	1個	2本	4本	1冊

【化粧鏡】

壁固定用ねじ(φ4.5×50)	化粧キャップ	電球形		照明カバー
		蛍光ランプ	LEDランプ	
4本	2個	1個		1個

バックパネル	壁固定用ねじ(φ5.0×55)	化粧キャップ
1個	2本	2個
	※バックパネルの裏側に付属	

【ウォールキャビネット】

壁固定用ねじ(φ5.2×55)	パッキン
4本	1個

4) 使用条件

●水栓金具の使用条件は水栓金具に付属の施工説明書をご参照ください。

5) 取り付け条件

●化粧鏡は必ず壁に設置してください。(窓の前などに設置できません。)
●洗面化粧台、化粧鏡を取り付ける床面および壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。

⚠警告

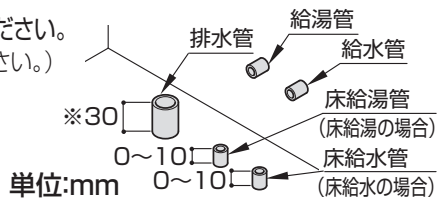
必ず実行

● **キャビネット・化粧鏡の壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れる**
(固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁表面の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。)(建築工事)
※三方壁に設置する場合は、商品開口に対して5mm以上のクリアランスを確保してください。更に、ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決めてください。
※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)
商品が転倒し、けがをするおそれがあります。

●給水管を所定の位置に取り出してください。
●器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
●排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立ち上げてください。
(排水管はVU40·VU50または、VP40·VP50をご使用ください。)

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、シリコーン系シール材(現場調達)でシールしてください。

※電気温水器をセットする場合は、80mmで立ち上げてください。

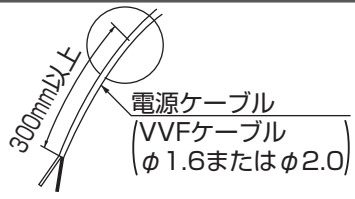


電気工事

【化粧鏡を直結配線にする場合】

● あらかじめ電気工事業者様にお願いして右図のように電源ケーブルを取り出しておいてください。

※取り出し位置は設置寸法を参照してください。



⚠警告

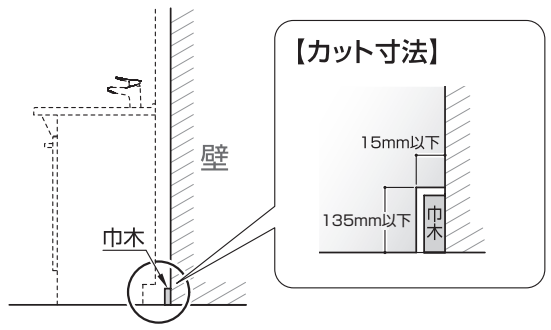
必ず実行
配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う
正しく被覆をむかないと、ショート・感電・火災の原因になります。

禁止
電源コードを切断して、電源ケーブル(VVF)と直接つながない
発火・火災の原因になります。

6) 洗面化粧台を取り付ける前に

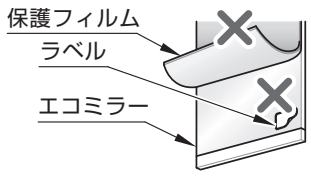
確認 壁に巾木はありますか?

➡ **壁に巾木があり、洗面化粧台をそのまま設置できない場合、下記寸法以下であれば洗面化粧台後部をカットできます。**



7) 化粧鏡の設置上のご注意

●鏡の取り出し、取り付けなどは必ず2人で作業してください。
●鏡を置く場合は、床に必ず緩衝材(ダンボール等)を敷いてください。
●ご使用前に傷が付くおそれがあるため、エコミラーの保護フィルムとラベルは、はがさないでください。
(LMBA＊＊＊＊＊＊＊C型)



8) 取り付け手順 (番号順に取り付けてください。)

1 キャビネットの扉を外す

●外した扉は傷がつかないように養生等をして保管ください。
●取り付け完了後、元に戻してください。
(扉の取り外しかた・取り付けかたは、10)取り付け完了後の確認と清掃をご参照ください。)

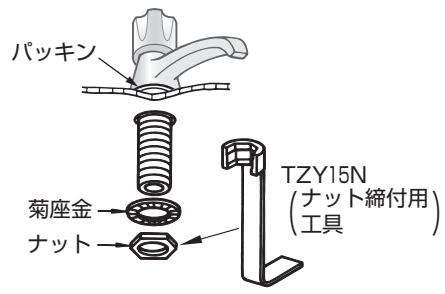
2 給・排水穴の穴あけ

●給水・排水の位置に合わせて化粧台に給水、給湯穴(φ30～50×2箇所、単水栓の場合は1箇所)、排水穴(φ50)を穴あけしてください。
●オプションで電気温水器を取り付ける場合は、給湯用の穴あけは不要です。また、排水穴の穴あけ要領については、電気温水器に付属の説明書を参照してください。

3 水栓一式の取り付け

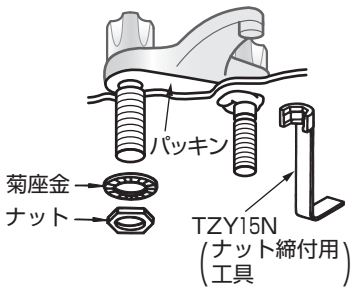
●エコシングル混合水栓の場合は、水栓金具に付属の施工説明書をご参照ください。
●別売のナット締付用工具(TZY15N)を使用して確実に締め付けてください。
※水栓本体と洗面ボウルのすき間が見えなくなるようにナットを確実に締め付けてください。

【単水栓の取り付け】



【2ハンドル混合水栓の取り付け】

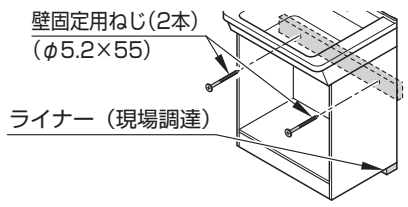
※片締めしますと、洗面ボウルが割れるおそれがありますので左右交互に均等に締めてください。



4 化粧台の取り付け

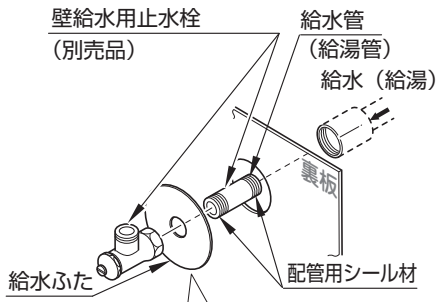
●付属の壁固定用ねじ(2本)で壁に確実に固定してください。

重要
※商品は水平・垂直に取り付けてください。
(床・壁面に不陸がある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。)

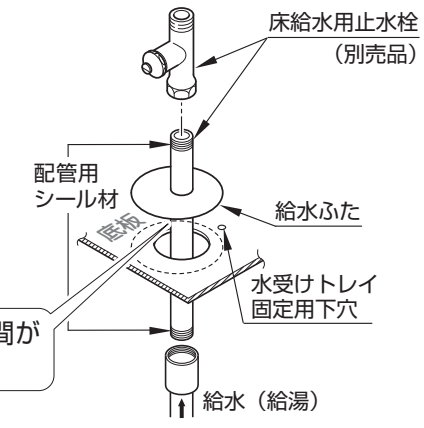


5 止水栓の取り付け

【壁給水の場合】



【床給水の場合】



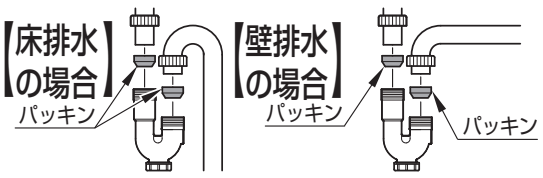
※給水ふたは、裏板および底板とのすき間がないよう確実に押さえつけてください。

6 排水トラップの取り付け

●壁排水となる場合や集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプアダプター(別売品)で確実に接合してください。
●各ナットを仮締めし、位置調整をしてから本締めをしてください。

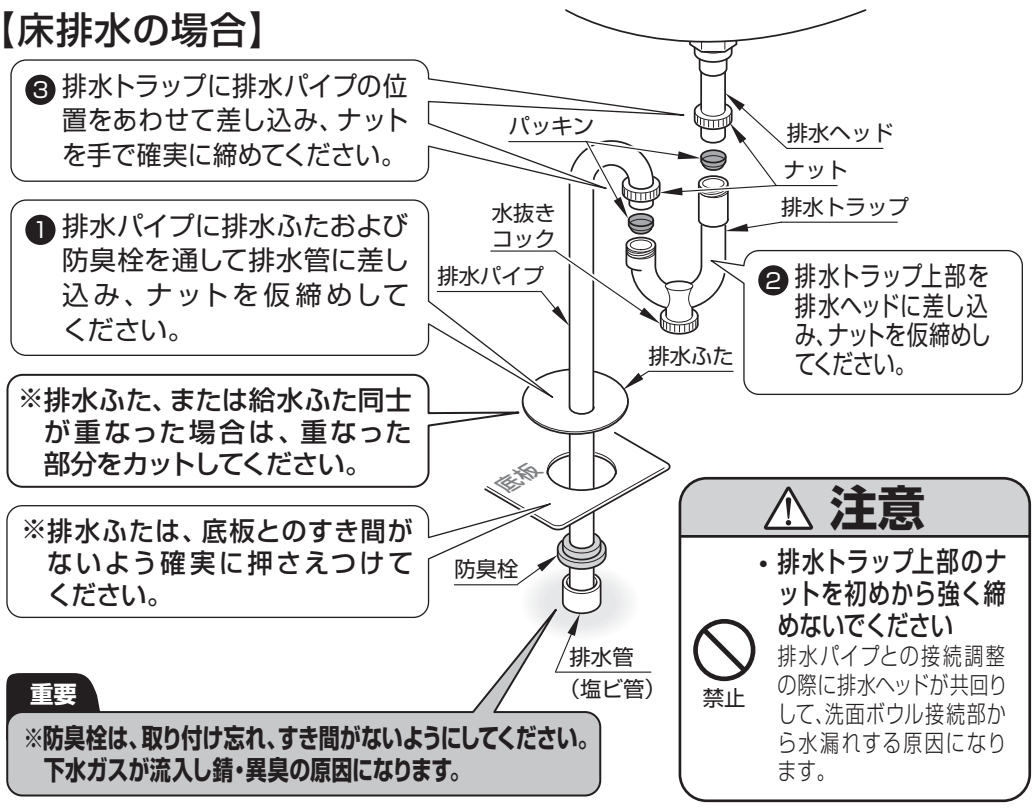
⚠注意

必ず実行
・パッキンの方向に注意する



・**ナットは工具を使用せず手で確実に締め付ける**
水漏れの原因になります。

【床排水の場合】



重要
※防臭栓は、取り付け忘れ、すき間がないようにしてください。下水ガスが流入し錆・異臭の原因になります。

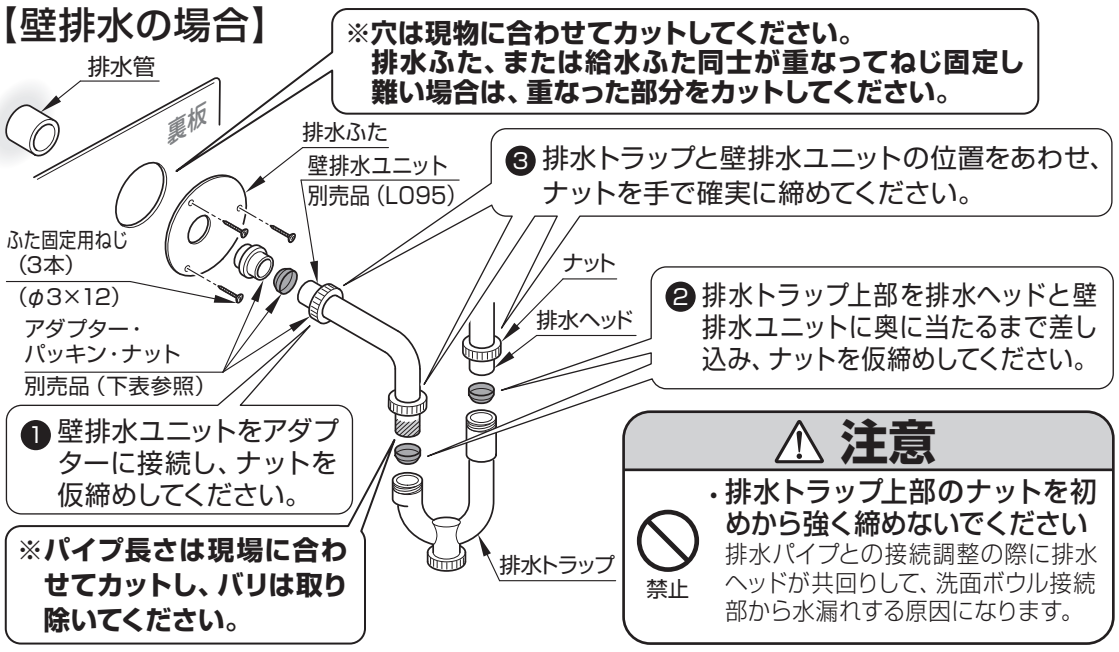
⚠注意

禁止
・**排水トラップ上部のナットを初めから強く締めないでください**
排水パイプとの接続調整の際に排水ヘッドが共回りして、洗面ボウル接続部から水漏れする原因になります。

裏面に続く➡

8) 取り付け手順（つづき）

【壁排水の場合】



⚠ 注意

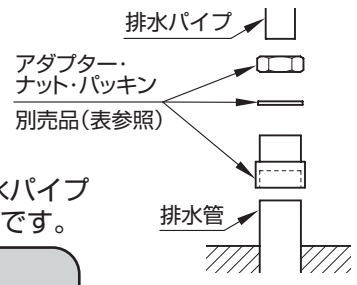
禁止

・排水トラップ上部のナットを初めから強く締めないでください
排水パイプとの接続調整の際に排水ヘッドが共回りして、洗面ボウル接続部から水漏れする原因になります。

アダプター（別売品）接続の場合

アダプターの種類	サイズ
T1122R(鋼管用)	R1 1/4
T1122J(塩ビ管用)	30用
L048(塩ビ管用)	40用
L049(塩ビ管用)	50用

※T1122Jは排水パイプのカットが必要です。



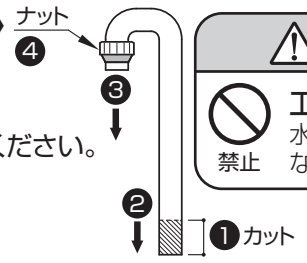
⚠ 注意

必ず実行

接着剤は必ず、アダプターと排水管の両方に塗布する
片側のみ塗布した場合、水漏れの原因になります。

〈 T1122J使用時の取り付け手順 〉

❶ 排水パイプをカットしてください。（右図参照）
❷ カット側をアダプターに差し込んでください。
❸ 排水パイプ上部を排水トラップに差し込んでください。
❹ ナットを手で確実に締めてください。



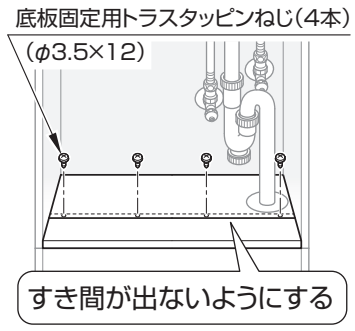
⚠ 注意

禁止

工具は使用しない
水漏れの原因になります。

7 底板の固定

● 底板をねじ固定してください。

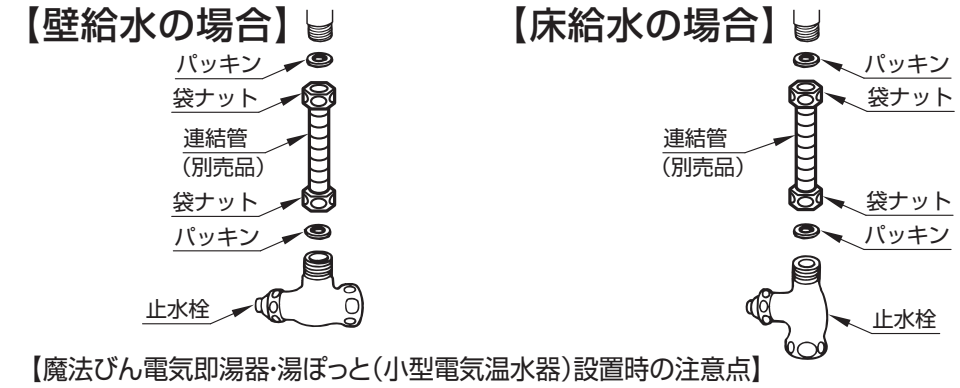


8 水栓金具の給水・給湯接続

エコシングル混合水栓 水栓金具に付属の施工説明書をご参照ください。

〈連結管の取り付け〉
● ナットは工具で確実に締め付けてください。

単水栓・2ハンドル混合水栓



【魔法びん電気即湯器・湯ぽっと（小型電気温水器）設置時の注意点】
● 止水栓の前に設置しないでください。
● 本体スイッチが前板と干渉しない位置に設置してください。
※給水・給湯の接続は付属の施工説明書に従い接続してください。

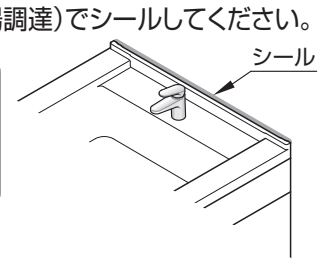
9 化粧鏡を取り付けない場合

● 洗面ボウルと壁面の間をシリコーン系シール材（現場調達）でシールしてください。

⚠ 注意

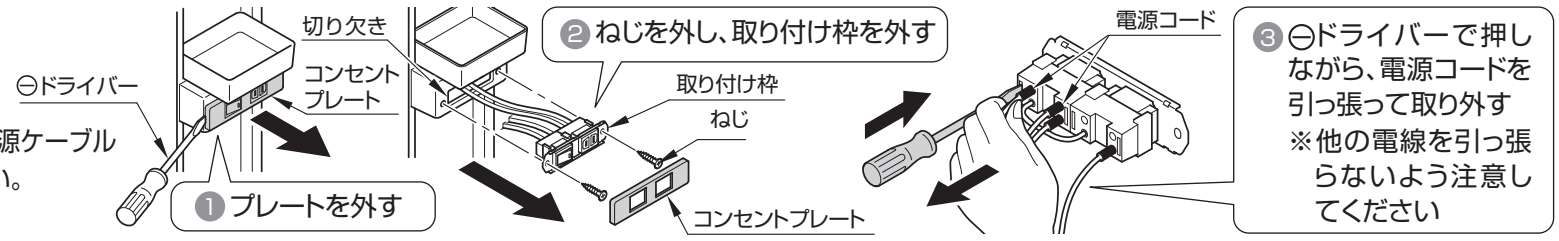
必ず実行

必ずシールをする
シールをしないと突き合わせ部から水が浸入し、キャビネットや壁・床を傷める場合があります。



10 化粧鏡取り付け前【直結配線の場合】

● 鏡設置前に電源コードを外して、設置時に電源ケーブル（VVF）をコンセント部から取り出してください。



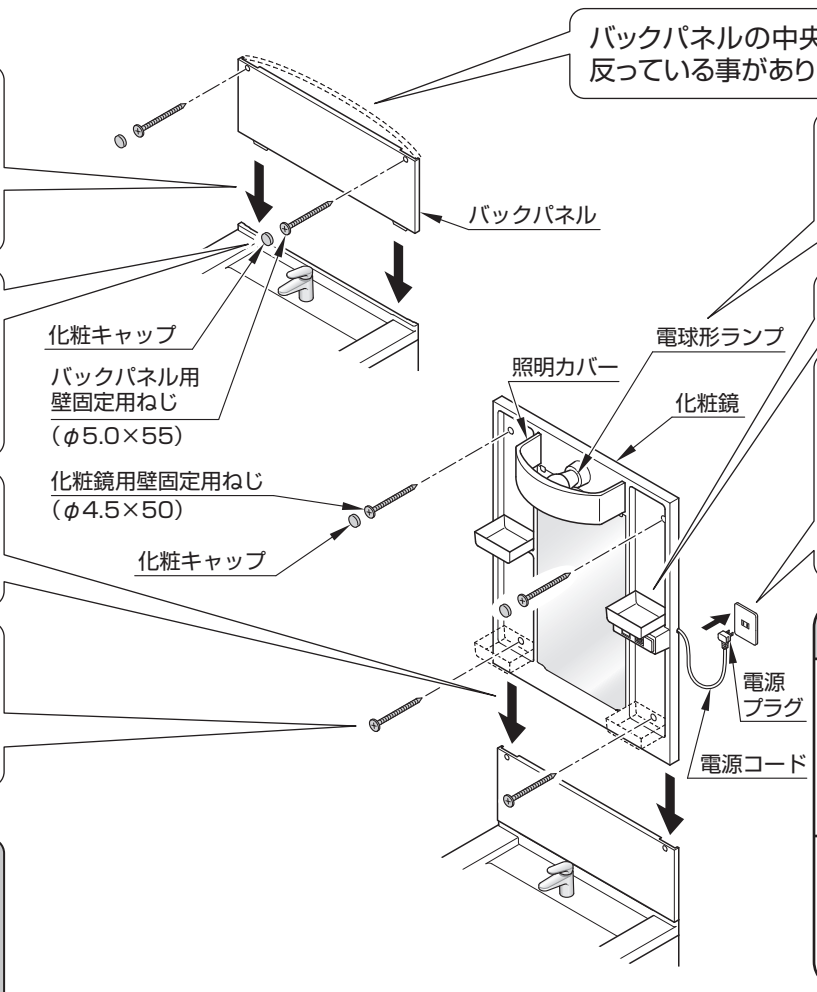
11 化粧鏡・バックパネルの取り付け

❶ **バックパネルの設置**
バックパネルを洗面化粧台の上にのせて、左右の位置合わせをしてください。

❷ **バックパネルの壁固定（2カ所）**
● 所定の固定穴を使用してください。
※壁固定用ねじと化粧キャップはバックパネルの裏側に付属しています。
※化粧キャップ（2個）をはめ込んでください。

❸ **化粧鏡の設置**
化粧鏡をバックパネルの上にのせて、左右の位置合わせをしてください。
その際、化粧鏡の電源コードを本体溝から外に出しておいてください。

❹ **化粧鏡の壁固定（4カ所）**
● 所定の固定穴を使用してください。
● 電源コードと接触しないようにしてください。
※化粧キャップ（2個または4個）をはめ込んでください。



❺ **照明の取り付け（LED/蛍光）**
❺-❶ 電球形ランプの取り付け
❺-❷ 照明カバーの取り付け

❻ **収納トレイの取り付け**

❼ **コンセントの接続**
プラグの差し込み方向によってはコンセントの極性が逆になりますので、電源コードの黒いラインが入っている側をコンセントの接地側（長穴側）に接続してください。

⚠ 警告

禁止

電源コードを束ねたままにしない
電源コードが発熱して火災の原因になります。

必ず実行

電源コードは必ず切り欠き部から出す
電源コードを本体と壁の間に挟み込むと発熱・火災の原因になります。

重要

〈化粧鏡〉
取付位置がゆがんでいる場合は、鏡が変形することがありますので、変形しないよう、壁固定用ねじのねじ込み代を調整しながらねじ込んでください。壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面にライナー（現場調達）を入れてください。

〈バックパネル〉
取付位置がゆがんでいる場合は、バックパネルが変形することがありますので、変形しないよう、壁固定用ねじのねじ込み代を調整しながらねじ込んでください。

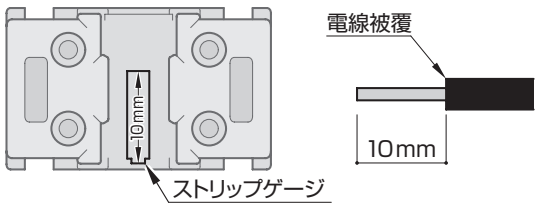
⚠ 警告

必ず実行

コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ（引抜き強度:1,000N以上／本）を打ち込んでおく
プラグは壁固定用ねじにあわせて現場にて準備してください。（プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）

⑫化粧鏡取り付け後【直結配線の場合】

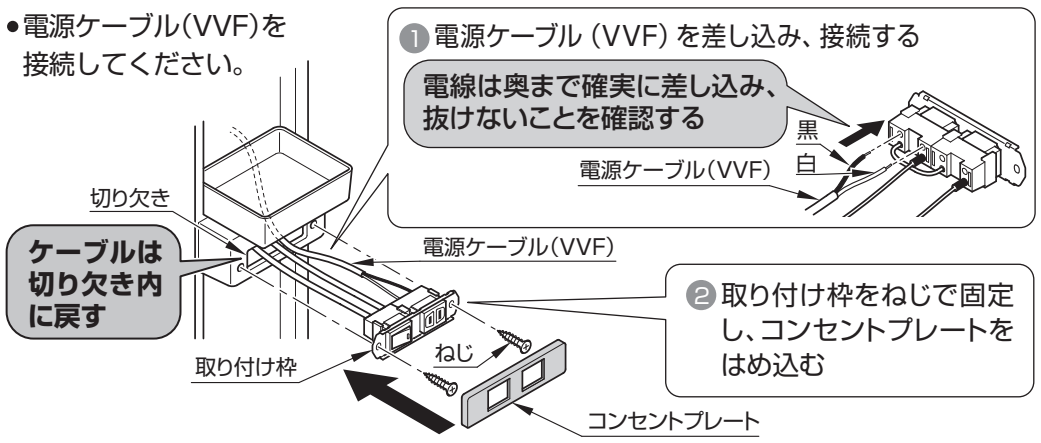
- 電源ケーブル（VVF）の電線被覆をむく長さはコンセントのストリップゲージにあわせてください。



⚠ 警告

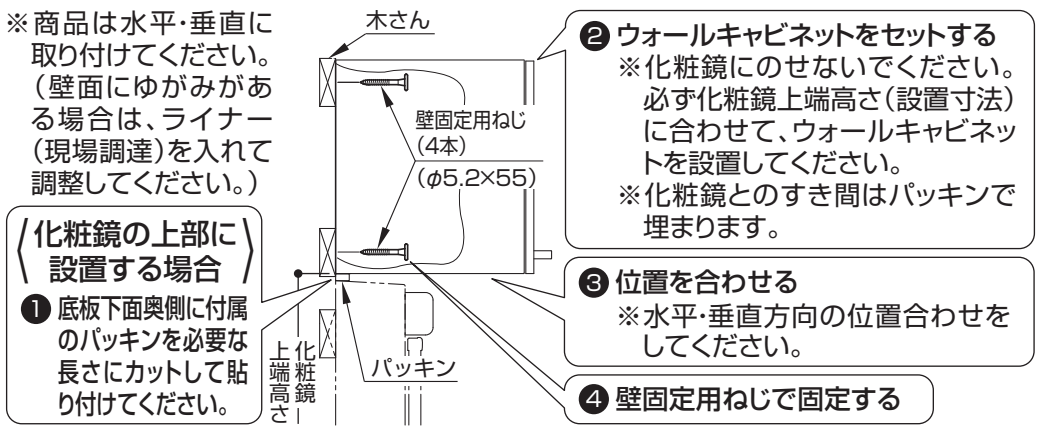
必ず実行 **配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う**
正しく被覆をむかないと、ショート・感電・火災の原因になります。

- 電源ケーブル(VVF)を接続してください。



9 ウォールキャビネット取り付け手順(番号順に取り付けてください。)

※商品は水平・垂直に取り付けてください。（壁面にゆがみがある場合は、ライナー（現場調達）を入れて調整してください。）



- 商品に付いた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
  その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。

重要
※有機溶剤（シンナー・アセトンなど）の使用は表面の変色・変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。

10 取り付け完了後の確認と清掃

- 商品が壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 扉の傾き・がたつきなど丁番のゆるみがないことを確認してください。
- 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認してください。
- 照明スイッチを入れて照明が点灯することを確認してください。
- コンセントにドライヤーなどを差し込んで通電するか確認してください。

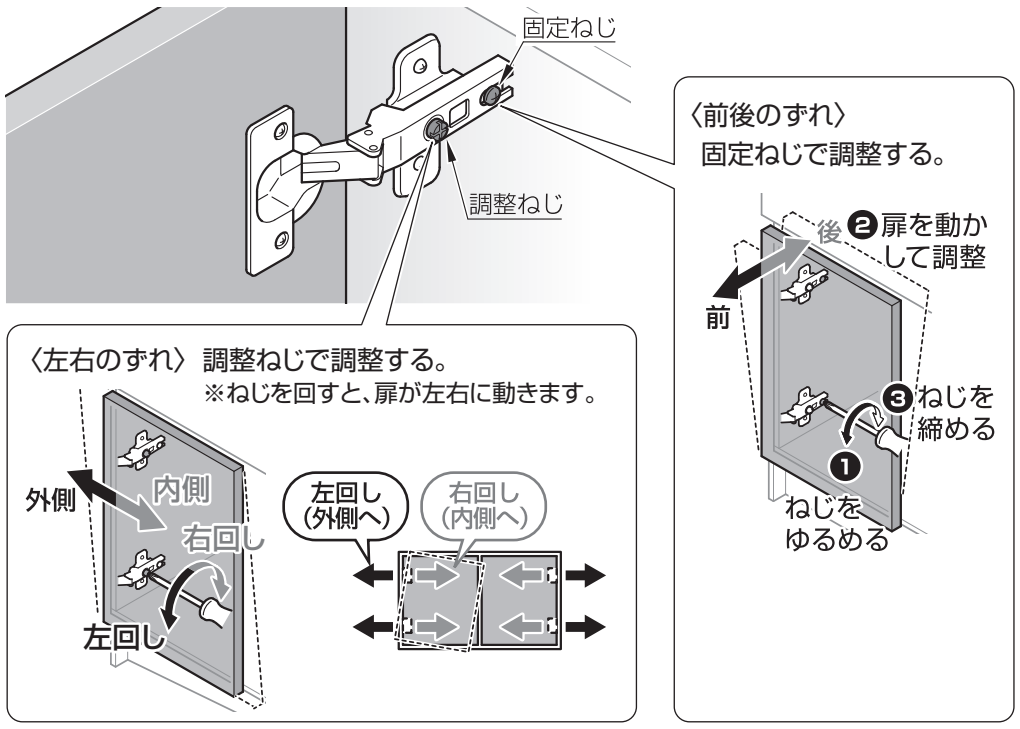
【調整要領】

⚠ 注意

禁止 **電動ドライバー禁止**
部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。

必ず実行 **調整後、固定ねじをしっかりと締め付けて、ゆるみがないことを確認する**
扉が外れて、けがをするおそれがあります。

〈扉の丁番調整のしかた〉

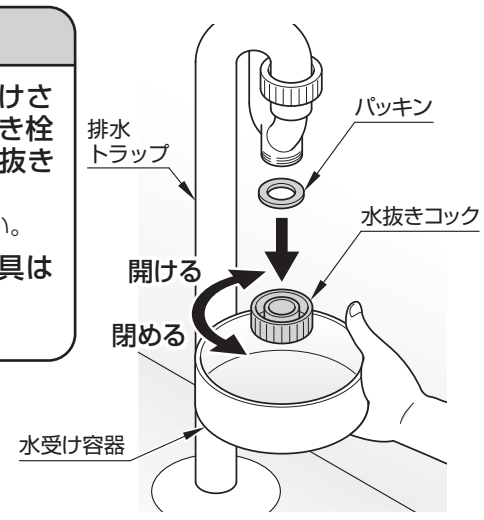


11 寒冷地タイプの水抜き

寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

⚠ 注意

必ず実行
- **凍結のおそれのある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と合わせて、次の要領で水抜きをする**
  お客様にも水抜き方法をご指導ください。
- **ナットは手で確実に締め付け、工具は使用しない**
  水漏れの原因になります。



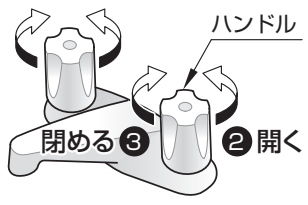
【排水トラップの水抜き】

❶水受けの容器を置き排水トラップの水抜きコックを開けてください。
（たまった水約140mlを受けるため）
❷水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。

【水栓の水抜き】

エコシングル混合水栓

水栓金具の施工説明書をご参照ください。

単水栓・2ハンドル混合水栓

❶配管部の元栓を閉め、水抜栓（配管部）を開けてください。
❷水栓金具のハンドルを開いてください。
❸水抜き後は必ずハンドルを確実に閉めてください。
❹配管部の水抜栓を閉め、元栓を開けてください。
※水栓本体の水抜きはありません。